805
17

沿海異聞

ノ百十一 第四棚

別14
8

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

東京府圖書館

沿海異聞卷五下

田原藩士渡邊登藏書記

一 台湾兵乱記 天明

一 寛政七卯年庵大書船海戒之事

一 同八辰年八月異国船源忌

一 天明元丑年紅毛人風説書

一 寛政元巳年紅毛人風説書

一 同九巳年八月對別表異国船見上ハ書付

一 同年七月新嶌ト流寄ハ樽矣帆樹島

一 同十午年二月對別紙子浦ト波源忌ハ琉球人之事

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8

ガラス使用

一 寛政九巳年十月無人嶌ゟ漂着いたし候
大州大坂薩州 船吟味書付

沿海異聞巻五下

去春台湾兵乱度々合戦ニ及ヒ候ニ付ニ依ル軍場捕賊候ハ
諸衙門隠密ニ於御国の中川口通事ニ於ケ同年ニ於ケ候ニ
ふ様ニ申ニ候ニ実ニ台雑ニ知ルニ於ケ官屋ニ交ニ庵人ニ口移
其外見ニ候ニ題ニ見ニ候ニ

一 去夏福州ニ於ケ兵乱ニ基庵人ニ於ケ去年ニ知
台湾府彰化縣ニ人林興文ニ於ケ武秀才大福家ニ者ニ
以ニ文所ニ縣官ニ賄賂ヲ貪ニ右林氏ニ非雑ニ掛ル故
宰会ニ於ケ林氏ニ朋友ニ者ニ右林氏無実ニ科逢ニ
去憤去ニ年八月以後遠興ニ居ル宰ニ於ケ林氏救出ニ縣官

とも致殺害之ゟ林輿文ニ而軍之名集宮和之意趣ハ
候ニ及今我去来ニ而ニ台湾四縣ニ内三縣攻之今
一縣も是ハ福州ゟ防之ニ及ニ防兼右之ニ
北京ニ及進文ハ京城ゟ停衛之ニ其ニ
諸州ゟも之数ニ及ニ征討ニ 御付ハ事ニ而ハ林氏方ニ
強之多年ニ莊氏載氏抜ニ中者付従之数義拾万袋
中解ニ安ニ亡難ニ也其ニ所ニ四月ニ風山縣ニ中堵元ニ
官軍押寄ハ府賊之堵ニ捨逐延中ハ也
五月初ニ賊之府元ニ攻来官軍戦負及敗走ハ不尚又

数十度戦及戦終賊方ニ負ニ引退中也ニ其ニ台湾
表南路ニ諸羅淡水ニ斬ニ中所ニ陳之反賊ニ攻
男女数人ニ生捕ハ也ニ福州堵元ニ捕越ハ也琉球人ニ義中途
ニ見ニ當ニ也
七月初ニ台湾南澤中州ニ中所ニ賊之数多ニ而尚又
南北驛路ゟ官軍差ゟ遣討ニ兵賊方別ニ及敗走三軍
人程ニ亡ハ也ニ後七月中旬ニ至淡水ニ中所ニ及今戦
ハ時ニ兵勝負ニ無ニ各陣勢ニ也ニ居中ハ也
八月初ニ福州水師官敏氏大将ニ守備把総之名ニ戦于

人引率而大將分之船其艘之衆門台灣出揮之之
其場琉球人其之也出合之後又如此

一 八月末以飲差官海氏福氏兩大將行衛之役之事
兵數有從之福州城之所以下之台灣表以越之也兼之復之
其之所以越之當日琉球人其之成城狀台之一至於路頭外
判後之如此右福氏之所之事
皇帝據以皆福州安之中人之以合事之十九戊之日付
總督之御付之中旦又往年其肅之所反叛之兵大將
之御付事遂征討之軍功有嘉業侯之中侯給之封

當時大將軍之所印之授四品以下之官人賞罪其所以
之石行至權柄之所人稱之中兼以

一 九月至之當又後之合戰有之所賊之者之引率彰化縣
之地方內大里村之中所之遁去山中深之隱居不出合也
不敢以

一 十月初以福州城內旗下之五百人山之旗下之三百人
同月中旬以四川省之之數千六百人唆囉書之四百人
十月初以之蔵水師之五百人於合之千六百人兼後陸
台灣之先越之中所以

一 右優嘘云ハ若坂ニ至ル地ニ種々ニ至ル玉極強ニ至ル
ハ其ニ兼忍ニ者ニ路ニ殺害ニ逢方ニ成ル事ニ至ル
右云ハ其ニ賊ハ柳福州通路筋店ニ設閉門琉球人ニ成
ル間ニ出ル事ニ把門ニ至ル事ニ後婦少別ニ隠居ハ居ル
衛門ニ巷ニ告示ニ出ル事ハ

一 右式訴別ニ其ニ賊ハ立殺大方如何程ニ至ル事ニ
立人ニ王文輝ニ中庵人ニ尋ル事ニ其年春ハ去
ル事ニ福建省ニ凡ニ万六千人程ニ至ル 純省ニ二千人
三千人ニ限ニ而ニ有ニ立殺ニ人ニ限ニ而ニ有ニ万金人ニ

一 其ニ其ニ賊ニ中ハ也蔵ニ中ハ
前件ニ至ル 殺万ニ立殺台湾ニ其ニ屯ハ未ニ去ル年
十月ハ五ニ至ル布政司衛門ニ粮限四万ニ而ニ程ニ
ニ當ル事ニ福州ニ中ハ粮米十万担程江西ニ有ニ
十五万担程台湾ニ運送ニ至ル事ニ軍器等ニ至ル
限ニ賊ハ石前年ニ至ル事ニ然ル程ニ来ル有ニ也ニ
至ル事ハ

一 十一月中ハ福大人ニ至ル六門ニ中ハ賊云陳ニ居ル
其ニ大里村ニ中ハ近ニ攻入賊堂ニ至ル海ニ来ル方宮先

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8

ガラス使用

小庵船方　才府　名嘉實　親雲上
大庵船方　才府　後久山　親雲上

申ノ二月

右台灣兵乱之一件ニ寛政二年庚戌十一月琉球人
參府之節　江言之　記也　近来之奇聞　足補史之
闕矣　今以杉浦氏之本写之
寛政三年辛亥春正月　藤厚明

右以近藤守重本写之
寛政七年乙卯七月十三日

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8
ガラス使用

寛政七年乙卯七月二日改両國橋並舗松本へ注之状写

五番舟

一 ぬし　九千斤　一 すもう　四万五千斤

一 外砂白　三千斤　一 象牙　九百斤

一 上白砂　五万五千斤　一 中白砂　八万五千斤

一 其外　八千斤

×

五番舟ハ五月廿四日発出し此所当六月二日乍滞か

六十四日と経満り寧波之地方ニ至タイワン小舟

三艘ニ海賊三百人程乘組古三艘ニ積切ニ程
奪ひ去迷ハ乘組ニ内ニ長ひ之ニ於鉄砲ニ
ハて若痛ニ致ニ之ニ多人ニ殺ス其他荷物も皆
ニ内ニ互ニ殺ス何ニ之ニ事ニ其ニ如ニ之ニ
船ニ乘ニ之ニ者ニ之ニ者ニ其ニ此ニ所ニ
中ニ来ル
メ
古ニ之ニ所ニ居ル
ちしりハ
人久

寛政八年
一 本国イリコヒリ タンヤ一名アンゲリヤ本国遠ニ出
帆夫ニ付イワヤローランテヤ上ニ付夫ニ北アメリカノ内ヨリ
ホニヤ上ニ付夫ニ付薪致ニ宣ニ付当地アフタ上着船是ニ
日本国南海ニ艦支那カントニ貴賓ニ乗ル為ニ海内ニ
越ニ者ニ答ル
船中人数百十人之内女壱人路ニ三人名前イワンワノワイ
ノエルトルナ○ブラツン○マツ千女名前ニ二ポニ船中荷物
一 砂糖 一 菜 一 麦 一 煙草 一 皮類
右ニ分種ニ積合ニ格ニ答ル
船長サ三十間位 幅六尺位

八月十四日 忌同廿九日出帆

南部醫師 [illegible]賢吾

澳津舟中縣勺

撥蓬設客席　促膝坐舩頭　陸奥仙臺人 志村勘左衛

落目蒼苔岸　清風碧海流　廣東陳世繼 寛政乙巳漂流

漁翁依石釣　舟子和舷謳　江戸舩頭

水淨纓堪濯　鳥馴機已休　志村篤治 仙臺人

興以袁宏渚　心懷王粲樓　竹中道穩 同

村舂徹波浪　山月照汀洲　勝田壽閑 同

近崖雲擁對　開牖雪滿裘　古山某 同

道是真奇絶　幾人為唱酬　野澤助之丞 同

問

我是日本陸奥國人姓源氏志村名時恭字仲敬別號東嶼○客舩之到此已告官府雖然事狀未審故使我詳問客舩之來情然後將護送同國心須從細說

答

廣東省廣州府新寧縣大灣港漁舩是過港人是廣東省潮州府澄海縣北門外之人舩主是陳受合舩是澄海縣之舩過港廣州新寧牌舩中之客十四人可得各自書姓名及年庚否

第姓陳名　世德　廿七才
姓林名　光榕　廿四才
姓林名　元江　三十才
姓陳名　元合　同
姓林名　阿意　廿二才
姓林名　禮輝　三十六才
姓朱名　阿高　四十九才
姓林名　招聲　四十一才
姓陳名　阿娘　四十二才
姓陳名　賢生　廿五才
姓陳名　阿猪　四十二才

姓林名　阿松　十六才
姓陳名　阿芙　三十四才
姓陳名　言光　二十八才

問
請問出港之時日且幾日而過風波

答
辰年四月初一日出港至初七日逢西北風吹出海
外我改人船使見山者不曉上下之山矣

問
出港以來無病死之人欤

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8
ガラス使用

出港船行十四人 全員矣

寛政八年丙辰九月十三寫

天明元七年紅毛人申上の
風説書

當年來朝之阿蘭陀船一艘閏五月九日咬囉吧
出帆仕候之所乘人ゟ日當地見當仕候外新船
無座候

一 五年以當地ゟ海帆仕候來ル[illegible]十二月[illegible]海之
[illegible]吹囉吧 [illegible]船仕候

一 五年申之の[illegible]國[illegible]國一段仕[illegible]
國と[illegible]合戦[illegible]靜謐[illegible]仕候[illegible]
阿蘭陀[illegible]用心仕軍用咬囉吧 表[illegible]

之粮米積候処、追々及難船候ニ付、無事ニ而帰帆仕候
右船當年ハ渡來不仕候

一 阿蘭陀人と唐人と争論致候處二三年
國ニ於て右之咬𠺕吧出帆の所ニ而静謐ニ付
之迄ニ而相済候

一 此度迄ハ漂流仕候者有之候て國ニ罷帰り申候

一 諸方ゟ仕候風説相聞かね申候

一 咬𠺕吧ニ而〇〇ニ而〇〇と申所記
仕候、右代ニ而ハ
中ニ
右之外相替風説無御座候

寛政元年
風説書

一 當年来朝之阿蘭陀船壱艘、去年ニ咬𠺕吧出帆
仕海上無滞當所江着船仕候、阿蘭陀船ニ而類船無之候

一 去年ゟ當地江向出帆仕候船去月十七日海上無滞咬𠺕吧
着船仕候

一 咬𠺕吧ニ而國臣下者共徒党仕國王を殺し國中
乱妨阿蘭陀國江も相延押寄及合戦
仕候、去ル寅年中ゟ右之者共追討仕候
内國之騒動之者國中ハ平和ニ相成申候
追去、仕候國より大軍を発し阿蘭
陀國へ押寄及合戦候ニ付、阿蘭陀ゟ高館を

仕到矣梱矣ととの高館横仕ひて活戦争暴
ふ
一つ事ても女帝迎ふまとまる国と乃今戦ひ
デーヨルマルコ。スエーデン、ノシルート。アメリカ仕ふ外
歐羅巴諸列行迚も乃合戦の波迚て和高中鋼ん
て来件ひ迚も迎ふげれも国ふの量後迚乃戦事ふ
ふ攻哨吧表迚和雖ふ安気仁ふ雖ふ乃気ふ
乾史印度矣攻哨吧迚乃騒動諸商結ふ
戦事乃ふ防戦ふ高仕の高仕ふ
お件ひて迎ふ印度迚商館高ふげ迚国ふ
奪ふ仁ふ有ふ本国矣印度ふ依商館ふ穂

仕到矣梱矣ととの高館横仕ひて活戦争暴ふ
ふ
一つ事ても女帝迎ふまとまる国と乃今戦ひ
デーヨルマルコ。スエーデン、ノシルート。アメリカ仕ふ外
歐羅巴諸列行迚も乃合戦の波迚て和高中鋼ん
て来件ひ迚も迎ふげれも国ふの量後迚乃戦事ふ
ふ攻哨吧表迚和雖ふ安気仁ふ雖ふ乃気ふ
乾史印度矣攻哨吧迚乃騒動諸商結ふ
戦事乃ふ防戦ふ高仕の高仕ふ
お件ひて迎ふ印度迚商館高ふげ迚国ふ
奪ふ仁ふ有ふ本国矣印度ふ依商館ふ穂

攻哨吧表ふ和高仕ふ
ふ行ふ軍和高館融和ふ
ふ事ふ依行ふ高ふ山
事ふ国ふ千来ふ戦事ふ
ふふ事乃ふ事乃
事高ん無ふ兵和ふ依ふ
ふふ事乃ふ依哨吧仁高ふ
事ふ国ふ千後高事仁
古神風説事ふ
下ふ依ふ評論仁ふ
大和ふ例ふ事高ふ

攻哨吧表ふ和高仕ふ
ふ行ふ軍和高館融和ふ
ふ事ふ依行ふ高ふ山
事ふ国ふ千来ふ戦事ふ
ふふ事乃ふ事乃
事高ん無ふ兵和ふ依ふ
ふふ事乃ふ依哨吧仁高ふ
事ふ国ふ千後高事仁
古神風説事ふ
下ふ依ふ評論仁ふ
大和ふ例ふ事高ふ

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8

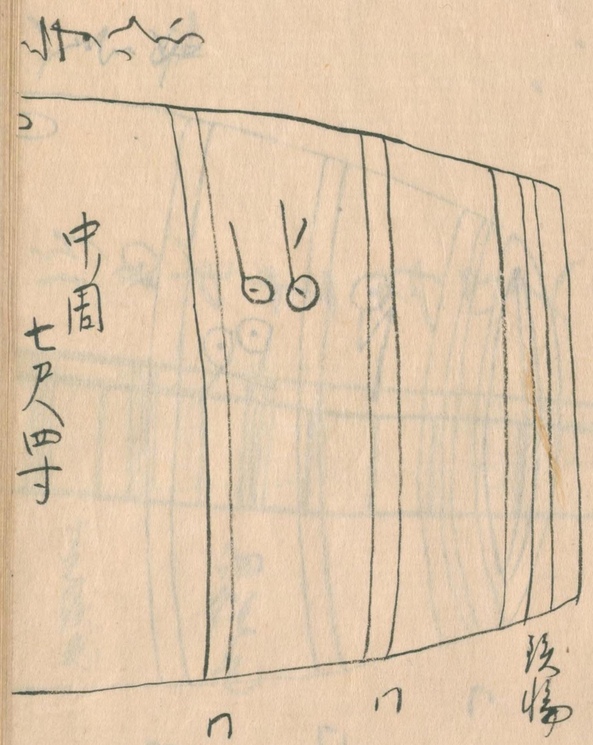
ガラス使用

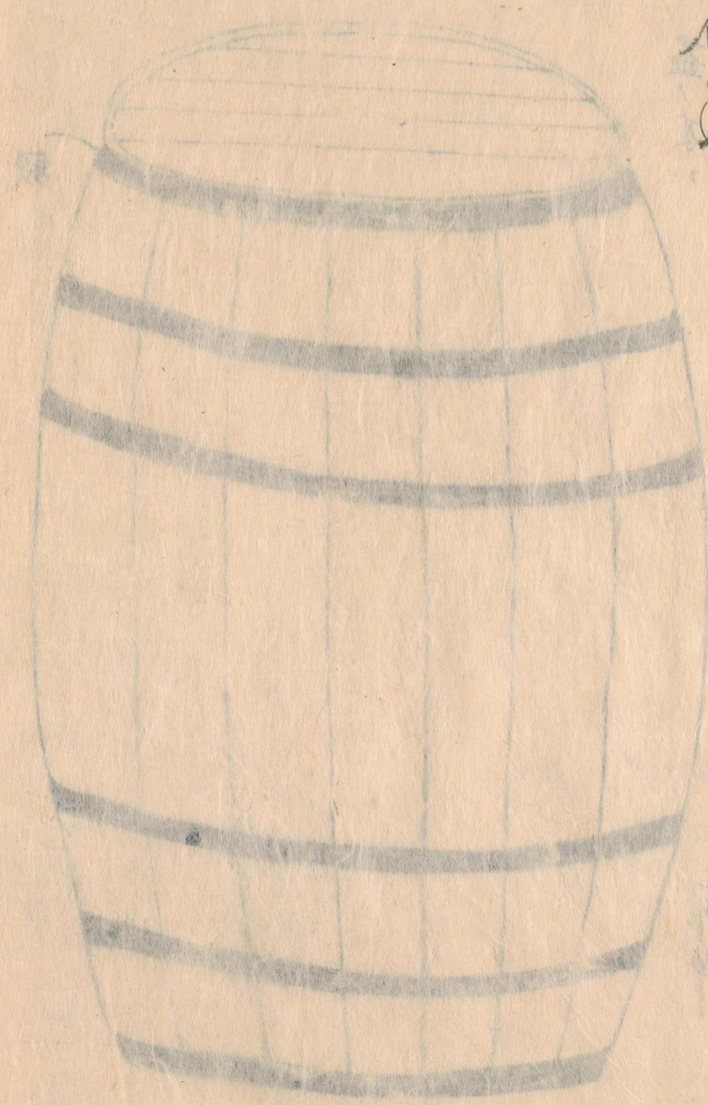
蓋ノ木ハ
ミホチノ如シ

中ニ麥わミアリ

右寛政九年丁巳七月廿九日

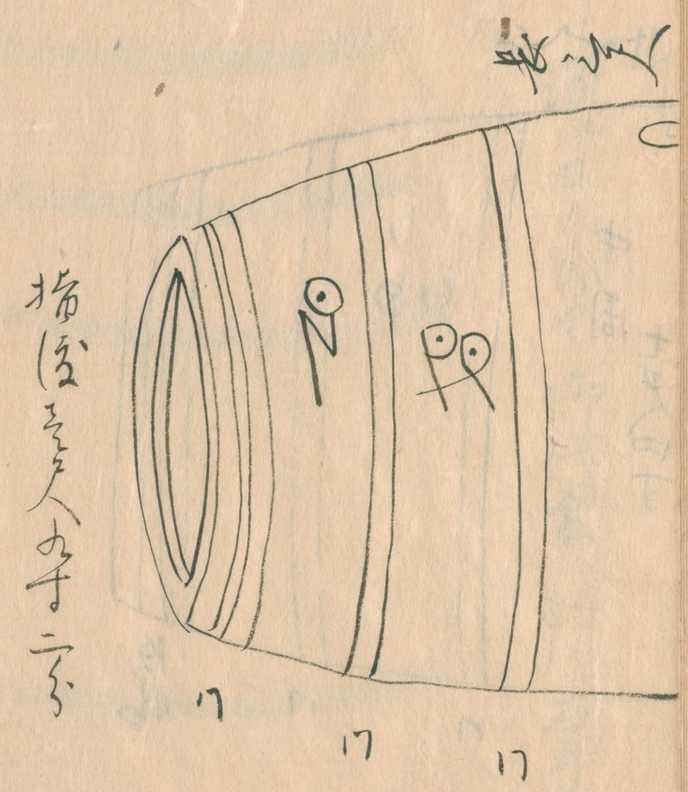
国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8
ガラス使用

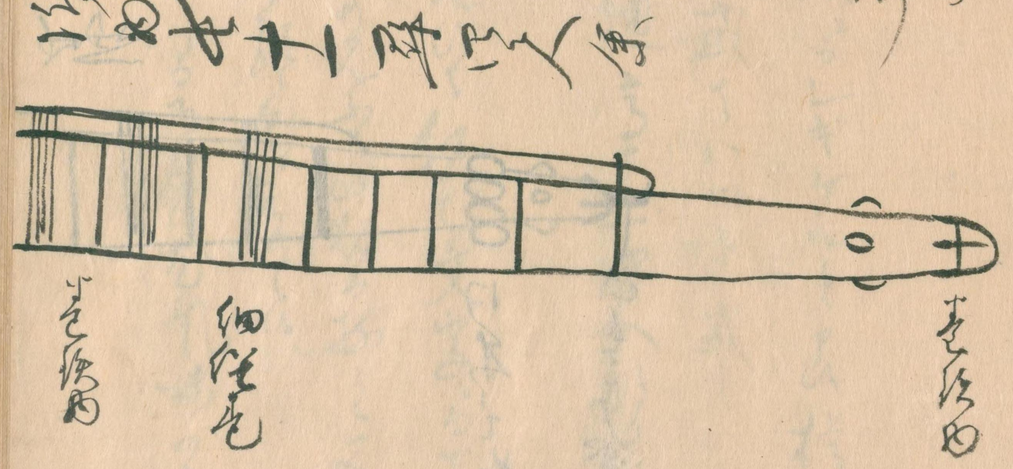




海上ヨリ流レヨリ御代宮 河川 奉命 ヨリ

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』 請求記号 寄別14-8
ガラス使用





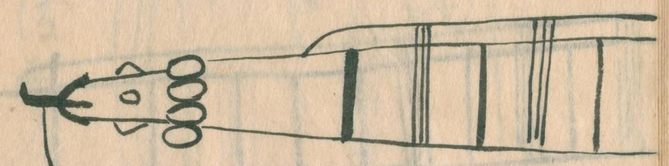
国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

一 書面に樣変語るしギゲルとかの樣に大小に
よつて或ハトン或ハハツト或ハアチイ或
お偶かの書面に通ハ高サ三四人ゆるをしギゲルと
お偶かの

一 文字のことにお見ゆる紙も文字なるも無座なり
西洋に文字ともおもんぶかの如き如き又ハ船主に
市之を付けかの付ハ都ハ多くなるの

一 酒ハ上品にアラキ為の座の尤も味なし節にお如き
かの



行本にてめしは樣なるの
此もの余

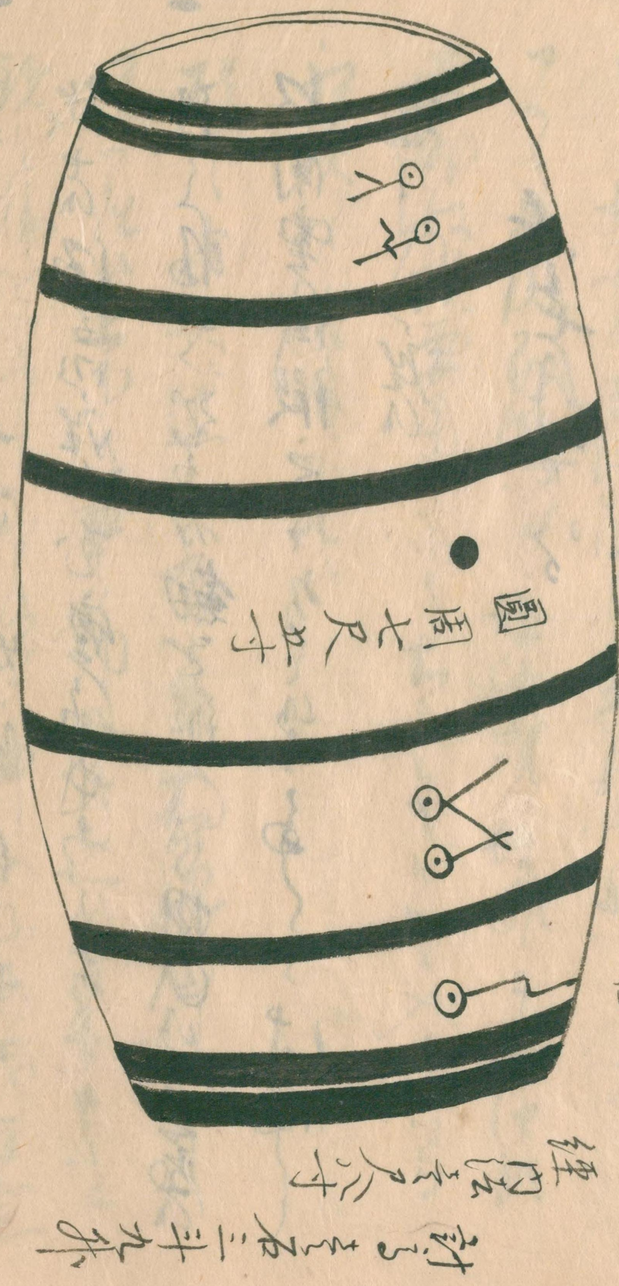
一 紅毛船其外西洋ハ何ニ軍船商船ともに取る
アラキ牛関取関等ニ塩漬或ハ塩鰯 ウヤン油鰯
其外船中要用ニ不ル大ニレキゲルニ入ル也ある
船積いたしの後ニ ハ注ハ

一 様ニ中央ニ至矢有ニ而ハ大海ニ出し入ル
ロニ ハ注ハ上下ニ蓋ヲ内ニ撃リ込ニ有ニ上
鉄ニ幅ヲ有ニ而ハ出し入ル事ハ成ル事ニ
ニ口ニ出し申ハ

一 アラキと中ニ下ニ焼海ニ紅毛船水夫ニ
鉄セハ海ニ居ハ左ニ磨治用ニ出ニ申ハ

一 鉄ニ幅ヲ有ル力鋼ヲ鍛ヒ用ヒ用ヒ
以南蛮織鍛之ヲ有ニ而ハ
幅ニ居ハ

巳寅七月廿八日



国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8

ガラス使用

以外深仕内照申付雑鮮に差遣候家来之者にも
無油断お心ゆく様申付越候は計候為て申上旨被仕
恐惶謹言

九月十一日

宗　對馬守
判

松平伊豆守様
戸田宗安様
石田伊弗守様
安藤對馬守様

一

五十四ヶ日ニ西国中刈對馬伊豆守様伊豆守様にも申候
遠ゆんより西目海上ニ数艘ニ船をおろん火を立候
事ニ方をさし家通ハ付従新鮮和銀ニ船
ゆゑ仕ゆるお心ゆ遠ゆんとり合事ニ立火ハ家ニ
立ゆんとゆゑ石船が一向火ふ立合福通ゆる不常
格別大造ニ火を暫ニ立事ニ方ニ家通ニ後
一向立火ふおろん其船ニ格子ニおろんは候申出ハ
門ヶ日ニ野仁位郷也ニ浦を入嶽と申候
其沖地方より里凡十里内ニ不ニ其頃ニ船数艘

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

横月

[illegible]

[illegible]人

琉球人書〻人[illegible]詩[illegible]

旅鈹誰相問寒燈獨可親

一年將盡夜萬里未歸人

千人嵩漂流人書[illegible]

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8

ガラス使用

寛政九年
己十月九日伊豆守殿ニ[illegible]
[illegible]

無人嶋ニ漂流いたしの中之の者共以ゝ味仕の趣中之の書付

書面何ゝ通て仕合
節度事承知ハ
己十月十六日

根岸肥前守

土佐国赤岡浦海也船大坂小堀江兵衛船薩州
志布志浦之右衛船進て無人嶋ニ漂流いたし数年を
経て寄ル流木をハ船ニ建之河口古忠所代豊不伊豆守
附ニ其ニ漂流いたし夫々ハ其ニ送り此度船便をハ

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8

ガラス使用

14
8

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8

ガラス使用

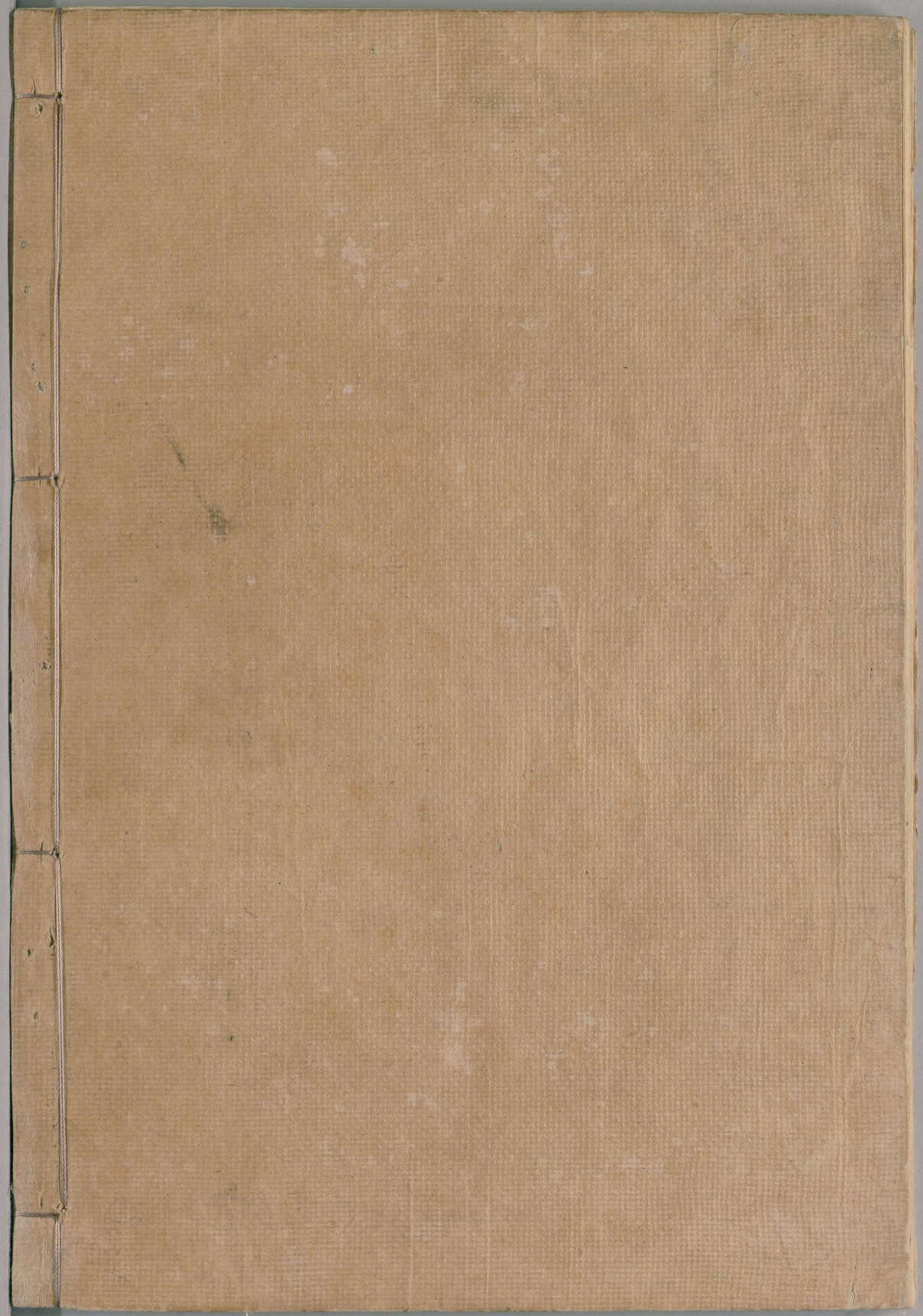
別14
8

右所ニ味仕ル趣書面ニ通ス所度ノ深見ニ始末ヲ口ニ通ス
無ニ遠疑ニ無ニ無ニ如ニ其ノ一口無接合ヲ浚江ノ表
ニ者ニ無ニ又ニ引請ニ者ニ未浚大坂出生ニ者ニ彼地
ニ於ケル越合引浚薩州ニ者ニ松平其浚ニ松平土佐ニ
取ニ引浦ニ於ケル仕ル事同ニ也

巳十月

寛政十年戊午五月十七日写　最ノ秘者也

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8
ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8

ガラス使用